

NADPZ NEWSLETTER

MARCH/ APRIL 2026



ムババラにおける女性・成長・団結を祝して

一年が過ぎるのは、本当に驚くほど早いものです。365日という時間が、まるで瞬きする間に過ぎ去ってしまったかのように感じられます。2025年の3月と4月、ムババラ・プロジェクトサイトの女性たちが年次祝賀会と選挙の準備を進め、新たなリーダーたちを迎え入れながら、さらなる成長と成功への一年をスタートさせていた時のことが、つい昨日のこのように思い出されます。

そして今——まるで魔法のように——私たちはその一年後を迎えています。2025年に新たに選出された女性リーダーたちは、今では自信を持って二年目のリーダーシップへと歩みを進め、女性メンバーや地域社会にとって、希望と導きの光として輝き続けています。

ようこそ、2026年ウィメンズデー祝賀会へ。この年次イベントは、2008年以来、毎年ムババラ・プロジェクトサイトで誇りを持って開催されています。

女性メンバーにとって、この日は単に「女性であること」を祝う日ではありません。それは、忍耐、団結、そして達成を祝う日です。このプロジェクトサイトそのものが、女性たちが互いに協力し合い、決意とビジョン、そして支え合う心を持って取り組む時、どれほど大きなことを成し遂げられるかを示す、生きた象徴となっています。女性たち自身の手によって開発され、築かれ、運営されてきたムババラ・プロジェクトサイトは、「不可能に見えたこと」を信じることの大切さと、共同の力の素晴らしさを映し出しています。

日本の秀明インターナショナルからの継続的な支援と協力により、このプロジェクトは、人々が地域社会や機会、そして希望に投資するとき、人生がどのように変わり得るかを示す力強い実例となっています。

毎年、会員・非会員を問わず、何百人もの女性たちが、「女性によって築かれ、女性のために存在するこの場所」に集います。ここで彼女たちは、自分たちもまた価値ある農家であり、リーダーであり、起業家であり、社会を変える存在になれるのだということを再確認します。ムババラ・プロジェクトサイトは、単なる農業の場を超え、女性たちが「見てもらえている」「大切にされている」「力を与えられている」と感じられる聖域となっているのです。

このプロジェクトの中心にあるのは、教育、機会、そして持続可能性への強い使命感です。ムババラ・プロジェクトサイトの理念は、女性農家や若者たちが安心して知識を学び、経験を分かち合い、自然農法の大切さを地域社会に伝えていける、安全で支え合いのある環境を作ることにあります。またそれは、多くの困難や障壁が存在する現代社会の中で、女性たちが自信を持ったビジネスウーマンとして成長していくことを後押しする場でもあります。

プロジェクトサイト全体に満ちている誇りと喜びは、誰の目にも明らかです。一つひとつの畑、集い、そして成功の物語には、この共同体を毎年大切に育み続けている女性たちの献身が映し出されています。ムババラ・プロジェクトサイトは、今もなお、希望、成長、そして可能性の象徴であり続けています。そこは、女性農家たちが生き生きと輝き続ける聖域なのです。

3月の「女性の月」を祝うにあたり、私たちは女性たちの成果だけでなく、その勇気、リーダーシップ、そして未来の世代のためにより良い世界を信じ続ける揺るぎない心を称えます。





青年リーダーシップから農業によるエンパワメントへー20年の歩み



2005年、私は「世界に変化をもたらしたい」という強い思いを抱いた23歳の若者として、この歩みを始めました。政治、リーダーシップ、そして社会変革は、単なる興味ではなく、私にとって一つの使命でした。率直に意見を述べる若い女性だった私は幸運にも、国連開発計画（UNDP）、Global Peace Initiative for Women、Shumei International、そして若者の力を育てようとする多くの団体が主催するユース・リーダーシップ・サミットを通して、自分の声と情熱を分かち合う機会をいただきました。

これらの場は、私のような若いリーダーたちに、「自分たちが地域社会や世界の課題解決の一部になれる」という機会を与えてくれました。特にYouth Leadership Seriesは、私に「声」と「自信」、そして「使命感」を与えてくれた存在であり、今でも深く感謝しています。今振り返ると、あの時与えられた機会は、その後、多くの人々の人生を変えていく「種」となったのだと感じています。特に農村社会において、その影響は大きなものとなりました。



そして20年後の今、私はザンビア自然農法開発計画（NADPZ）プロジェクトの成長と、その使命が大きく発展してきたことを深く感じています。現在のイベントスケジュールを見ると、10歳から25歳までの若者たちが中心となって参加していることに、大きな希望を感じます。彼らこそ、私たちの国の未来であり、特に農業の未来を担う存在です。

しかし同時に、私たちが直面している大きな課題の一つは、多くの若者が農業を魅力的な道として見なくなっていることです。関心は別の方向へ向けられ、農業はしばしば「可能性」ではなく、「重荷」として捉えられています。だからこそ、NADPZは、あらゆる形で若者たちを支援し、力づけていくことに強い使命感を持って取り組んでいます。



私たちが特に誇りに思っている活動の一つが、NADPZプロジェクトサイトで毎年開催される「年次青年デイ・パレード」です。この行事は、単なる祝賀イベントではありません。それは、若者たちに「希望」「学び」「力」を与えるためのプラットフォームなのです。この集いを通して、私たちは若者たちに、農業をこれまでとは違う視点で見てもらいたいと願っています。つまり、「苦労ばかりで報われない仕事」としてではなく、自立への道、起業への可能性、持続可能な社会づくり、そして国家発展への貢献へとつながる道として。

この歩みを続けていく中で、私たちの使命は明確です。次世代に投資し、彼らの可能性を育み、農業をはじめ様々な分野でリーダーとなっていくよう励ましていくことです。未来は若者たちのものです。そして、適切な機会と励ましが与えられるなら、彼らは自分自身の人生だけでなく、国の未来そのものを変えていく力を持っているのです。



信仰・農業・共同体 — 共に育み、持続する変化へ

農業とは、絶え間なく続く営みです。それは単なる職業ではなく、人生そのものに関わる、24時間の責任と生き方です。作物や家畜を育てることだけではなく、農業は地域社会への参加や共同体の組織づくりとも深く結びついています。強い農村共同体は、共通の価値観、協力、そして互いを支え合う心によって築かれていくのです。

私が最初に農村地域で働き始めた頃、なぜ協同組合の会議を週末に開くことができないのか、理解できませんでした。しかし、その理由を知るまでにそれほど時間はかかりませんでした。私たちの多くの地域社会において、「信仰」は日々の生活の中心にあるのです。キリスト教徒が大多数を占める国として、週末は礼拝、家族との時間、そして精神的な内省のために大切にされています。



農村の家族と共に数か月過ごすうちに、私は彼らが毎週欠かさず教会へ通う、その一貫した姿勢と献身に深い感銘を受けました。雨の日も晴れの日も変わることなく続くその信仰は、共同体の土台そのものとなっていたのです。

一方で、私自身の育ちは少し違っていました。私の両親は、毎週私たちを教会へ連れて行くことはありませんでした。その代わり、天候に関係なく、私たちを農場へ連れて行ったのです。私たちの週末は、農作業や牧畜に捧げられていました。そしてその経験を通して、私は勤勉さ、忍耐力、そして土地を守り育てる責任感を学びました。



今振り返ると、信仰と農業は、実は非常によく似た価値観を育むものだと感じます。規律、継続力、希望、そして未来の世代のために、より大きなものを築こうとする心。これらは、両方に共通する大切な価値です。

2026年4月、ザンビア自然農法開発計画（NADPZ）のプロジェクトサイトは、「教会に参加する女性たちの集い」の会場となりました。何千人もの女性たちがこの地に集い、宿泊しながら、信仰、団結、そして目的意識に満ちた力強い光景を生み出しました。



私たちは、教会と協力しながら女性たちを支援できることを誇りに思っています。それは単に信仰を深めるだけではなく、女性たちが農業、ビジネス、リーダーシップ、そして地域社会づくりに積極的に参加できるよう力づけていくことでもあります。女性は、家庭の成長だけでなく、経済成長の中心的存在です。持続可能な発展のためには、女性たちの参加が欠かせません。

NADPZは、私たちの活動を支えてくださっている教会の皆様、心より感謝申し上げます。私たちはこの協力関係を大切に、今後もさらに多くの機会を共に築いていけることを楽しみにしています。

信仰に根ざした団体、農業共同体、そして開発機関が強く結びつくことによってこそ、私たちは地域社会だけでなく、国全体にまで広がる、意味ある持続的な変化を生み出していくことができるのです。